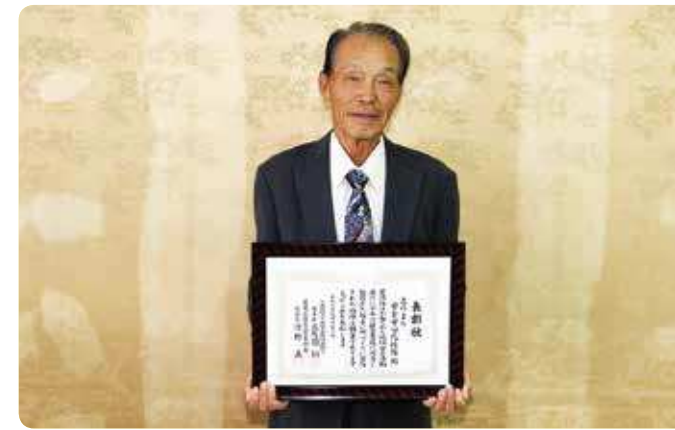




## 無人ヘリの操縦技術で全国3位

全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会で柏木裕作さん、山下辰也さんペアが3位入賞しました。

11月1日、柏木さん（志布志市農業公社、写真中）が市長室を訪れ入賞を報告しました。お二人は10月25日に茨城県で開催された同大会のBの部（認定証取得後5年以上）に出場。雨が降り風も強く操縦が難しい中、見事入賞を果たし、鹿児島県の団体戦2位入賞にも貢献しました。



## 地域の安全を守る活動に感謝状

志のまち安全安心「8」応援隊（代表：大山博美さん）の皆さんが県防犯協会と県警察本部から表彰されました。

10月3日、鹿児島県庁において開催された平成29年全国地域安全運動鹿児島県大会において県警本部長から表彰されました。同応援隊は、志布志警察署管内で17名が平成21年から毎月8の付く日に活動しており、交通安全パトロールや店舗内での万引き防止見回りなどの活動を続けています。

## クイズと謎解きにチャレンジ

志布志商店街を会場とした謎解きイベント「ししまるのクイズまちがいさがし」が開催されました。

11月3日、多くの家族連れ等が、会場となった商店街を散策しながら謎解きイベントに参加しました。

参加者はクイズの答えを探して商店街の各地を回り、クイズの答えを元に謎解きにチャレンジしました。また、謎解きの正解者を対象に特産品等が当たる抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



## 理容技術の全国大会で2位入賞

原田昌司さん（有明町蓬原、ヘアサロンケンジ）が第69回全国理容競技大会で準優勝しました。

10月16日、和歌山県で開催された同大会に原田さんが出場し、50歳以上の理容師が20分という限られた時間内でカット、パーマ、スタイリングの技術を競うマスタースタイリスト部門で準優勝しました。準優勝した原田さんは、来年以降に開催される世界大会への出場も予定されています。



## 健康増進作文で県知事賞を受賞

第31回「健康増進月間」作文・標語コンクールで安楽小学校2年生の永吉千愛さんが県知事賞を受賞しました。

11月13日、千愛さんが教育長室を訪れ、受賞を報告しました。コンクールは、県内の小・中・高校及び一般を対象に、体験に基づいた健康に関する作文と標語を募集して行われました。今年度は作文には343点の応募があり、千愛さんは小学校低学年の部の最高賞となる県知事賞を受賞しました。



佐藤誠海将（写真左）と田浦さん（写真左中）

## 自衛艦の入港支援に感謝状

市ふるさと大使の田浦天志さん（志布志町帖）に海上自衛隊佐世保地方総監から感謝状が贈られました。

10月23日、長崎県の海上自衛隊佐世保地方総監部で贈呈式が行われ、佐藤誠海将から田浦さんに感謝状が贈られました。田浦さんは、海上自衛隊の護衛艦等の志布志港入港の際、物資補給や歓迎会開催の調整、市内観光案内等の入港支援を行っており、志布志港への継続的な自衛艦入港に寄与しています。

## 被害状況の情報提供に協力します

南日本新聞曾於地区南日会と志布志市が災害時における被害状況の情報提供に関する協定を締結しました。

11月17日、同会の福留浩二会長のほか市内の販売所所長等が出席し、市役所本庁において協定調印式が行われました。同協定により、市内で災害が発生した場合、新聞配達員が被害状況を市に提供することで被害状況をいち早く確認でき、被害か所の早期復旧が図られます。



## 地震・津波の災害に備え訓練

南海トラフを震源とする震度6弱の地震、大津波警報の発令を想定した防災訓練が行われました。

11月1日、志布志湾沿岸部を中心とする避難訓練が行われ、沿岸部の住民や幼稚園児、小学生等が高台へ避難しました。今回の訓練では、避難所開設・運営訓練や市社会福祉協議会と連携した災害ボランティアセンター設置運用訓練も初めて行われ、参加者は避難所での役割を分担して体験しました。







## 人権の花運動閉校式を行いました

人権の花運動でひまわりを育てた野神小学校と安楽小学校で閉校式が行われ、取組に対して感謝状が贈られました。

11月6日に野神小、11月29日に安楽小で閉校式が行われ、法務局、人権擁護委員から感謝状と記念品が贈られました。安楽小学校では、児童を代表して6年生の谷口夢空さんが「花を大切に育てました。成長がとても嬉しかったです。これからも人権を大切にしたいです」とあいさつしました。



## 税の作文で国税庁長官賞を受賞

有明中1年の川畑太一朗さんの作文「豊かなくらしを支える税」が国税庁長官賞を受賞しました。

11月28日、有明中学校で大隅税務署長から表彰状と記念品が伝達されました。川畑さんは、自身が野球部で使っているグラウンドが税金で整備されていることへの感謝の気持ちを作文にし、今年度全国の中学生から応募のあった615,967編の作文の中から大隅税務署管内では初となる同賞を受賞しました。

## カサゴの稚魚を放流しました

志布志港工事連絡協議会が志布志港本港地区の志布志漁協前でカサゴの稚魚を放流しました。

11月30日、志布志港で工事を行っている㈱植村組とみらい建設工業㈱が地域の工事協力に感謝し、子ども達に港に関心を持って欲しいと実施しました。

招待された志布志小学校5年生の児童は「大きくなってね」など声をかけながら、体長約9cmのカサゴの稚魚約2,650匹をバケツで放流しました。



## 田之浦夜神楽で神舞を奉納

田之浦神楽保存会（井久保修二会長）の皆さんが田之浦山宮神社に伝わる神舞を奉納しました。

11月25日、志布志町田之浦の田之浦ふるさと交流館で夜神楽が行われ、同保存会の会員のほか田之浦地区の小、中学生が舞い手を務め、23段の神舞が奉納されました。

夜神楽は、毎年2月のダゴ祭りだけでは全ての舞を奉納できないとして隔年開催されています。



## 農山漁村女性活動功労表彰を受賞

又木智子さん（志布志町帖）が農山漁村女性活動功労表彰の組織活動部門で県知事から表彰されました。

11月21日、鹿児島県庁で開催された平成29年度農山漁村パートナーシップ推進研修会で表彰式が行われました。又木さんは、昭和49年から生活研究グループ活動等に参加し、長年にわたり農山漁村での女性の経営参画や組織活動の推進に尽力されていることが評価され、今回の受賞となりました。



## 新しい研修ハウスが完成しました

市農業公社が行う施設ビーマンの研修用ビニールハウスが松山町尾野見地区に完成し、竣工・落成式が行われました。

11月25日、市長、市議会議員のほか森山衆議院議員、尾辻参議院議員、県農政部技術次長等が出席し、竣工式、落成式、交流会が行われました。

同施設の完成により、これまで研修が行われてきた志布志町内之倉の施設と合わせて、受け入れられる研修生が10名から22名に増えることになります。

## 14万球の光が公園を彩ります

志布志市商工会青年部の皆さんが鉄道記念公園（志布志町志布志）を14万球の電球で飾りつけました。

12月2日の点灯式では、点灯カウントダウンが行われ、一斉に点灯すると来場者からは歓声が沸き起こりました。また、打ち上げ花火やぜんざいの無料振る舞い、バンド演奏なども行われ、多くの来場者が志布志の冬の風物詩を楽しみました。イルミネーションは来年1月8日まで点灯されます。



## 自衛官の再就職への協力に感謝状

志布志東洋埠頭株式会社（地曳高士代表取締役社長）の退職自衛官の雇用に対して感謝状が贈られました。

11月27日、地曳社長が市長室を訪れ、自衛隊鹿児島地方協力本部長から感謝状が贈られたことを報告しました。

同社は、平成27年度以降に定年退職した自衛官3名、それ以前を含めると5名の再就職先として雇用しています。

